

シンポジウム「健康寿命の延伸に対する取り組み—20年のあゆみとこれから—」

健康に関する協働による実践的取り組みについて
—地域住民と学生とともに—



渡邊 敏文

新潟医療福祉大学 社会福祉学科 教授

健康寿命の延伸に関して、主に介護予防等在宅支援研究事業と介護技術講習会（家庭介護ゼミナー）の2つの具体的事業について整理し報告する。

介護予防等在宅支援研究事業は、新潟水俣病患者支援として新潟医療福祉大学で取り組んできた研究事業である。2012年度に、患者を対象にしたアンケート調査からその結果を報告書としてまとめ、2013年度には専門職向けの手引きや患者用のリーフレットを作成した。併せて、初年度から年に3～6回程度、教員（専門職）と学生で、健康に関する一口講話、学生が考案したレクリエーション、患者と学生のお茶のみによる交流、足浴などの構成で「健康教室」を継続して開催している。

介護技術講習会は、社会福祉学科介護福祉コースの教員（専門職）と学生が、地域住民に安楽な姿勢や体位変換、移乗の技術、食事介助などの介護の技術を提供してきた。2010年度から開始し、2カ月に1回程度実施してきた。回を重ねるごとに、地域住民と学生の信頼関係が構築され、休憩や教室後の時間において、介護の悩みを語り合う場にもなった。2019年度からは、「家庭介護セミナー」として、学生を主体として事業を展開している。

最後に、これら以外の事業や企画（講座）も含め、多角的側面から、健康寿命、地域貢献、教育、研究、協働、専門職、企画、運営などをキーワードとしてまとめる。

<略歴>

1979年 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 卒業
2010年 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科博士後期課程 修了
2001年 社会福祉法人新潟市有明福祉事業協会救護施設有明荘 指導係長
2002年 学校法人加茂暁星学園新潟中央福祉専門学校 非常勤講師
2005年 国際福祉医療カレッジ（現、国際こども・福祉カレッジ）社会福祉学科 学科長
2019年 新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 学科長

<資格>

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員など

<学会活動>

日本地域政策学会 常任理事 研究推進委員長
日本地域福祉学会 新潟県地方委員

<社会活動>

日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議座長、新潟県ひとり親家庭等支援計画策定委員会座長、新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長、新潟県介護人材確保対策会議委員、五泉市高齢者保健福祉市民会議委員、新潟県福祉サービス運営適正化委員会委員、新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員、新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員）、日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員

<教育研究活動>

研究テーマ「地域保健福祉における住民参加」「介護福祉士養成教育における倫理教育」
国土交通省「社会環境的側面を加味した安全・安心な国土形成の構築に関する研究」（共同研究）2008年
新潟医療福祉大学 地域連携推進センター センター長